

進捗状況の概要（1ページ以内）

新潟大学は、本事業「全学分野横断創生プログラム（NICE プログラム）」を契機に既存の副専攻制度を刷新し、新たなメジャー・マイナー制へ移行した。メジャーとは、学生が各学部において学ぶ専門分野のことである。マイナーとは、学生が別に学ぶもう一つの専門分野のことである。即ち、メジャー・マイナー制とは従来の学部の枠に縛られず、複数の専門領域を全学的に横断して学ぶことができる新たな人材育成システムである。学生一人一人の問題意識に合った学問分野の魅力的な掛け合わせが可能な柔軟な学修環境を構築するとともに、大学での学び方について授業や相談を行うアカデミック・アドバイザーによるきめ細かな学修支援体制の整備も進めている。これにより、総合大学の豊富な教育資源を活かしながら、学生一人一人の学びの動機づけを高めるオーダーメイド型教育としてのメジャー・マイナー制を実現している。

マイナー・プログラムは、令和2年度の準備期間を経て、令和3年度には24、令和4年度にはさらに18のプログラムが新たに開設され、現在は42のプログラムを運用している。新潟大学は10学部を有しており、各学部のメジャーは合わせて38プログラムある。単純に掛け合わせても（ $42 \times 38 = 1,596$ ）、本学には約1,600通りの学び方がある。さらに、本事業プログラムは、多様な専門分野の掛け合わせを提供しているというだけではない。マイナー・プログラムの学修方法は非常に柔軟であり、学生一人一人が自分に適した学び方を選択することにより無理なくマイナー学修を収められる環境を構築している。

具体的には、学び方の異なる3種類のマイナー・プログラムを用意した。一つは、マイナー・プログラムにおいて最も特徴的な「学修創生型マイナー」である。これはおそらく海外にも例のない非常にユニークな学び方である。即ち、学生自身が自らの学びをデザインするというプログラムである。学生は、アカデミック・アドバイザーとともに自分の目指す進路や問題意識・関心に即して、大学全体で提供している数千科目の中からその学びに必要な科目を選択し、自分のマイナーとしてデザインすることができる。科目選択にあたっては、個々の科目を1つ1つ選ぶことも、3～5科目程度の同種の専門科目をセットにしたモジュールと呼ぶ科目セットを選ぶこともできる。これまでの取組で実際に学生が構成したプログラムのタイトルには、例えば次のようなものがある。「地域格差による子供たちへの影響」（教育学部）、「行政業務とデータ活用」（法学部）、「自然再生と地域振興を結びつける」（農学部）、「ICT技術を活用した発展途上国の教育システム」（工学部）など。二つめの「パッケージ型マイナー」は、各専門分野の科目リストをパッケージとして提供するプログラムである。科目リストの中から選択して学ぶ方式であり、あらかじめマイナーとして学びたい分野が明確である場合に適している。科目リストのほとんどは、メジャーの科目群から基礎的な科目が選定されている。三つめは「オナーズ型マイナー」である。学び方としてはパッケージ型と同様に科目リストから選択履修するが、オナーズ(honors)という語が成績優秀者を表すように、このプログラムを修了するためには次の条件がある。①各プログラムの授業科目を24単位以上修得すること、②3年次末までに各プログラムで定めた「入門科目」を履修すること、③卒業時の総修得単位数が各学部の定める卒業要件数を12単位以上上回っていること、④卒業時の全履修科目GPA（成績評価の指標で1～5）が2.5以上であること、さらにプログラムごとに条件を定めている場合もある。

本事業では、大学での学びをデザインする入門科目「分野横断デザイン」と、メジャーとマイナーの掛け合わせ等の学修成果を振り返る集大成科目「分野横断リフレクション」を開設している。自らの学びをデザインし意味づけを行うことにより、自身の課題と目標を持って学修ができる人材の育成をねらっている。令和3年度は55名、令和4年度は74名が「分野横断デザイン」の履修を終えている。この科目の履修を通して学生が着実に育っており、令和3年度から分野横断的学修を支援する教員のサポートをするアシスタント（Student Assistant）として活躍する学生が生まれ、令和5年度からは本事業に関する社会に向けての情報発信を行う広報活動にも参画していく。